

東京芸術祭 2023「まちなかプログラム」 事業計画

1. 事業枠組み：

(1) 主催

東京芸術祭実行委員会〔豊島区、公益財団法人としま未来文化財団、東京芸術劇場・アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）、東京都〕

(2) 事業概要

当委員会は、東京都が掲げる「東京文化戦略2030」を実現する中核的な機関として東京芸術祭を実施している。東京芸術祭では、芸術祭を通じて芸術文化が果たす機能を都民をはじめ多くの人に分かりやすく示すために、劇場以外でのプログラムを数多く実施してきた。東京芸術祭直轄事業「まちなかプログラム」では、劇場以外でのプログラムの実践を通して、市民と舞台芸術の新たな接点を創出し、舞台芸術の新たな表現方法を生み出すことを目的に実施するプログラムである。

(3) プログラムディレクター

長島 確（ながしま・かく）

ドラマトウルク。立教大学文学部フランス文学科卒。大学院在学中、ベケットの後期散文作品を研究・翻訳するかたわら、字幕オペレーター、上演台本の翻訳者として演劇に関わる。その後、日本におけるドラマトウルクの草分けとして、さまざまな演出家や振付家の作品に参加。近年はアートプロジェクトにも積極的に関わる。参加した主な劇場作品に『アトミック・サバイバー』（阿部初美演出）、『4.48 サイコシス』（飴屋法水演出）、『フィガロの結婚』（菅尾友演出）、『効率学のススメ』（ジョン・マグラー演出）、『DOUBLE TOMORROW』（ファビアン・プリオヴィル演出）ほか。主な劇場外での作品・プロジェクトに「アトレウス家」シリーズ、『長島確のつくりかた研究所』（ともに東京アートポイント計画）、「ザ・ワールド」（大橋可也&ダンサーズ）、『←（やじるし）』（さいたまトリエンナーレ 2016、さいたま国際芸術祭 2020）、『半七半八』（中野成樹+フランケンズ）、『まちと劇場の技技（わざわざ）交換所』（穂の国とよはし芸術劇場 PLAT）など。訳書に『新訳ベケット戯曲全集』（監修・共訳）ほか。フェスティバル/トーキョー18～20ディレクター。東京藝術大学音楽環境創造科特任教授。

河合千佳（かわい・ちか）

武蔵野美術大学造形学部基礎デザイン学科卒。在学中より劇団制作として、新作公演、国内ツアー、海外共同製作を担当。企画製作会社勤務、フリーランスを経て、2007年、NPO 法人アートネットワーク・ジャパン（ANJ）入社、川崎市アートセンター準備室に配属。「芸術を創造し、発信する劇場」のコンセプトのもと、新作クリエイション、

海外招聘、若手アーティスト支援プログラムの設計を担当。また同時に、開館から 5 年間にわたり、劇場の制度設計や管理運営業務にも携わる。2012年、フェスティバル/トーキョー実行委員会事務局に配属。日本を含むアジアの若手アーティストを対象とした公募プログラムや、海外共同製作作品を担当。また公演制作に加え、事務局運営担当として、行政および協力企業とのパートナーシップ構築、ファンドレイズ業務にも従事。副ディレクターを経て、フェスティバル/トーキョー18～20共同ディレクター。2021年より現職。日本大学芸術学部演劇学科非常勤講師（2017年～2021年）。

(4) 主な会期

2023年10月～11月（予定）

各プログラムの実施日程はプログラムディレクター、アーティストおよび当委員会と十分な調整を行ったうえ決定すること。

(4) 実施会場

豊島区内各所

具体的な実施場所はプログラムディレクター、アーティストおよび当委員会と十分な調整を行ったうえ決定すること。

(5) 主たる期間のスケジュール（予定）

| 日 程 | 場所・会場 | 内 容 |
|---------|-------|----------------------------|
| 4月上旬 | 豊島区内 | リサーチ開始 |
| 6月中 | | プログラム名、出演者等プログラム詳細決定 |
| 7月～8月 | | プログラムラインナップ発表、プログラムの詳細情報公開 |
| 8月中 | | 鑑賞者等の募集開始 |
| 10月～11月 | 豊島区内 | プログラムの実施・発表・上演 |

2. 内 容：

(1) まちなかプログラム1「とくさしけんごアンサンブル（仮）」

F/T19 オープニングプログラム『移動祝祭商店街』では大塚のまちの音からパフォーマンスのための楽曲を書き下ろし、F/T20 移動祝祭商店街『その旅の旅の旅』では「街の調性」として、豊島区内8ヶ所において、街のバイノーラル録音とその彩色を行なった、作曲家・とくさしけんごが、音に溢れる大都市において、「賑やかし」とは別の共存の仕方、まちの環境、聴覚に働きかける音楽プロジェクトを展開する。なお、プログラムの実施を通して、音楽大学などの教育機関との連携も探る。

1 リサーチ

[日 程] 2023年4月から6月まで 不定期

[会 場] 豊島区内およびオンライン

本プロジェクトを実施可能な場所のリサーチやヒアリングを行うとともに、音楽大学などの教育機関にアプローチをはかり、協力を仰ぐ。プロジェクトに必要な出演者、メンバー、スタッフを確定し、ディスカッションを重ね、具体的な実施プラン等を決定する。

②実施に向けた具体的なクリエイション、広報展開

[日 程] 2023年7月から9月

[会 場] 豊島区内

プロジェクトに即した広報展開をアーティスト、ディレクターとともに展開、必要に応じて参加者を募る。また、実施に向けた準備やリハーサルを行うとともに、スタッフと打ち合わせを重ねる。

③プログラムの実施

[日 程] 2023年10月上旬～中旬のうち 2日～5日程度

[会 場] 豊島区内

(2) まちなかプログラム2「居間 theater 『パフォーマンス待合室 (仮) 』」

驚田清一『「待つ」ということ』から着想を得て、さまざまなひとが、それぞれに待つ場所、「待合室」というものに注目してつくられた居間 theater「としまステーションW パフォーマンス待合室」。2016年に豊島区内で初演された本作を東京芸術祭でリ・クリエイション。開設された待合室では、子ども向けから大人向けまで、複数のアーティストによるパフォーマンスも行われる。

1 リサーチ

[日 程] 2023年4月から6月まで 不定期

[会 場] 豊島区内およびオンライン

本プロジェクトを実施可能な場所のリサーチや地域へのヒアリングを行うとともに、地域団体や商店街にもアプローチをはかり、協力を仰ぐ。プロジェクトに必要な出演者、メンバー、スタッフを確定し、ディスカッションを重ね、具体的な実施プラン等を決定する。

②実施に向けた具体的なクリエイション、広報展開

[日 程] 2023年7月から9月

[会 場] 主に豊島区内 (予定)

プロジェクトに即した広報展開をアーティスト、ディレクターとともに展開、必要に応じて参加者を募る。また、実施に向けた準備やリハーサルを行うとともに、スタッフと打ち合わせを重ねる。

③プログラムの実施

[日 程] 2023年10月下旬～11月上旬 (予定)

[会 場] 主に豊島区内 (予定)

(3) まちなかプログラム3「『くらしチャレンジ（大人とこどものための戯曲集）』ワークショップ」

地域に根ざしたリサーチを重視する劇団活動の経験と、都市計画を専門に学術研究する2つのバックグラウンドをもつ阿部健一によるリサーチをもとに実施した、東京芸術祭2022『くらしチャレンジ（大人とこどものための戯曲集）』。東京芸術祭2023で本戯曲をよりいっそう地域で活用してもらうため、2022年の中で得られた協力関係をベースにワークショップや配布イベントを展開する。

[日 程] 2023年10月（予定）

[会 場] 東京芸術劇場ほか

以 上